

いよいよ2学期が始まりました。前号でお伝えした近畿新人大会に出場が決まった陸上部ですが、男子リレー2種目と女子棒高跳に出場する大坂谷さんを含め個人種目は10種目の誤りでした。申し訳ありませんでした。9月13日から和歌山県で試合に臨みます。来年の静岡インターハイを見据えて自分たちの位置を確認できる大会にしてきてください。



さて、報告漏れの活動を一つ紹介します。「触れる地球がやって来る」がテーマで小中高を対象に加東市が企画した環境問題へのアプローチの一つとして地球について考える機会をそれぞれの立場から持つということで本校も津田里桜さんを中心に6名の生徒が、4回の講座に参加。兵庫教育大学院生とともに8月24

日には発表を行いました。

そして迎えた8月29日。まず新しく来られたALTの先生の紹介です。リチャード



先生に替わり、アメリカからミシガン州立大学を卒業されたばかりのマリッサフェルドマン先生が来られました。先生自身からもご挨拶をいただき、「日本語は難しいが勉強したいので話しかけてください、一緒に頑張りましょう。」と話されました。その際には、7月から産休に入られた本養護教諭の後、お勤めいただいている中須賀先生と8月から産休に入られた松本教諭の後、お勤めいただく中井先生も同時に紹介させていただきました。

始業式では、生徒たちの元気な姿を見ることができ、嬉しく思いました。話の中心は、私がものまねのコロッケさんの話から「あおいくま」の話です。「あせるな」「おごるな」「いばるな」「くさるな」「まけるな」の頭文字をとって「あおいくま」です。コロッケさんがお母さまからいつも言われていた言葉だそうです。私たちの生活にも当てはまるとして話をしました。うまいかないことが多い時には「あせるな、くさるな、まけるな」、うまいったときには「おごるな、いばるな」を思い出そうという話です。うまいかないことの方が多き普段の生活です。自分自身をしっかりと受け止め、謙虚に、そしてうまいったときには喜んでよいが次のことを見据えてやはり謙虚にということだと思います。そうすることでいろいろなことが見えてきて、周りのことをしっかりと考えられるようになると思います。自分自身を元気づけられる言葉を見つけようという話をし、最後に自殺の多い9月1日、もし悩んだら必ず相談に来てほしいという話で締めくくりました。2学期のスタートをうまく切ってください。

始業式後は、表彰伝達と近畿大会、国体の壮行会です。表彰伝達では運動部はこの夏行われた東播地区新人大会の表彰、文化部は、美術部が国際美術展秀作賞、奨励賞及びNHK杯放送コンクール入選の表彰を行いました。男女バドミントン部はダブルス、シングルスで優勝、準優勝を勝ち取るなど県大会に向けて弾みがつき、柔道部も男子団体は優勝、女子も個人で優勝、水泳部は3位入賞する選手が3名と良い結果だったようです。陸上部は、全国4位の大坂谷さんの表彰に引き続き、県ユース大会の表彰。そのままの状態です。飯牟田選手は、今年10月に行われる茨城国体の選手にも選ばれており、壮行会での力強い挨拶に期待が持てそうです。私は、近畿ユースは全国大会につながらない大会であるため来年の静岡インターハイでの勝負も見越した試合にしてほしいと激励、体育部副部長も激励の言葉を述べ、壮行会を終了。体育館は結構な暑さでしたが、生徒たちはその後、服装検査などを経てホームルームに入りました。

私は11時から長きに渡って支援いただいている国際ソロプチミスト北播磨の終結式に真鍋先生、



本校Sクラブ代表築澤遥香さんと出席してきました。「地域と世界中で、女性と女兒のための生活向上を目指し、奉仕活動を行う。その目的にあった顕彰プログラムや、奨学金などを実施する。」ことを目的に1991年に設立され本年30周年を迎えたばかりでした。ご高齢の女性の皆様方が様々なところに支援金を出し、多くの団体を支えてこられました。活動の維持が難しくなりソロプチミストの活動に終止符を打たれるそうです。本校も一緒に活動させていただくことが多くあり、ご支援をいただいていたので、感謝の気持ちで一杯です。安田加東市長をはじめ多数の来賓の見守る中、終結式を無事終えられました。本当にありがとうございました。